

【警告】

1.コンタクトレンズ(以下、レンズ)の装用により、角膜潰瘍、角膜炎(感染性角膜炎を含む)、角膜浸潤、角膜びらん等の角膜上皮障害、角膜浮腫、結膜炎(巨大乳頭結膜炎を含む)、虹彩炎、角膜血管新生等が発症する可能性及び角膜内皮細胞の減少を早める可能性があります。

レンズの装用による眼障害の中には、治療せずに放置すると失明につながるものがあります。

2.上記の眼障害を起こさないようにするためにも、レンズを使用する際は、次のことを守ってください。

(1)装用時間を正しく守ること

レンズの装用時間には個人差があります。眼科医から指示された装用時間を守ってください。

(2)使用期間を守ること

このレンズは使用する期間が決まっています。眼科医の指示に従い、使用期間を超えることなく、定期的に新しいレンズと必ず交換してください。

(3)取扱い方法を守り正しく使用すること

レンズやケア用品の取扱い方法を誤ると眼障害につながります。レンズやケア用品(特にレンズケース)は、清潔に保ち、正しい取扱い方法で使用してください。

(4)定期検査を受けること

自覚症状がなく調子よく装用していても眼やレンズにキズがついたり、眼障害が進行していることがあります。異常がなくても眼科医に指示された定期検査を必ず受けてください。

(5)異常を感じたら直ちに眼科を受診すること

レンズを装用する前に目ヤニや充血がないか、またレンズ装用後も異物感等がないか確認し、異常を感じたら、眼科を受診してください。

(6)破損等の不具合があるレンズは絶対に使用しないこと

装用前に、レンズに破損等の不具合がないか必ず確認してください。装用中にレンズの破損等による自覚症状が発生し、自覚症状が改善しない場合は眼科を受診してください。

【禁忌・禁止】

1.適用対象(患者):次の人は使用しないこと

- 前眼部の急性及び亜急性炎症
- 眼感染症
- ぶどう膜炎
- 角膜知覚低下
- レンズ装用に問題となる程度のドライアイ及び涙器疾患
- 眼瞼異常
- レンズ装用に影響を与える程度のアレルギー疾患
- 常時、乾燥した生活環境にいる人
- 粉塵、薬品等が眼に入りやすい生活環境にいる人
- 眼科医の指示に従うことができない人
- レンズを適切に使用できない人
- 定期検査を受けられない人
- レンズ装用に必要な衛生管理を行えない人

2.使用方法

自分のレンズを他人に渡したり他人のレンズを使用しないこと

【形状・構造及び原理等】

1.レンズの組成

- (1)ソフトコンタクトレンズ分類:グループ I
- (2)構成モノマー:ケイ素含有メタクリレート系化合物、NVP、DMA、HEMA
- (3)含水率:46%
- (4)酸素透過係数:114×10⁻¹¹(mLO₂·cm)/(sec·cm²·mmHg)
- (5)着色剤:アントラキノン系着色剤

2.保存液

保存液の主成分:NaCl、ホウ酸系緩衝剤、ポロキサミン

3.原理

コンタクトレンズに付加された頂点屈折力及びコンタクトレンズと角膜の間に存在する涙液により視力を補正する。

【使用目的又は効果】

視力補正

【使用方法等】

終日装用又は連続装用の別:終日装用

レンズの交換期間:2週間、消毒方法:化学消毒

<使用方法等に関連する使用上の注意>

1.レンズ着脱

(1)レンズ取扱いの注意事項

- ・爪を短く切り、丸くなめらかにしてください。
- ・レンズを取り扱う前に必ず手を洗ってください。
- ・レンズを装脱するときは、爪を立てたり、指先が直接眼にふれないようにしてください。

* (2)レンズの取り出し方

- ・開封時にアルミシールで手指を切らないように注意してください。
- ・レンズをキズつけないように、爪を立てず指の腹でそっと容器から取り出します。
- ・装用前にレンズの左右、裏表を確認してください。



(3)レンズのつけ方

- 1)人さし指の先にレンズをのせます。
- 2)鏡を見ながら、もう一方の手の親指と人さし指で眼を大きくあけます。
- 3)レンズをゆっくりと眼に近づけ、黒目の上にそっとのせます。
- 4)レンズを黒目にのせたら、眼をあけていた指をゆっくりはなし、まばたきをゆっくりしてください。
- 5)左右の見え方で、入れ違いないかを確認してください。

(4)レンズのはずし方

- 1)中指で下まぶたを引き上げます。
- 2)そのままの状態で見え方と人さし指でレンズの下方をつまみはずします。

2.装用スケジュール

- (1)このレンズは最長2週間で交換する終日装用レンズです。レンズは起きている間に装用し、寝る前にははずしてください。
- (2)レンズの装用に慣れるまでのスケジュールは個人差があります。必ず眼科医の指示に従って、あなたにもっとも合ったスケジュールで慣らしてください。

【スケジュール例】

徐々に装用時間を延ばし、装用に慣れるようにします。

装用開始から

1日目	6時間
2日目	8時間
3日目	10時間
4日目	終日装用(起きている間の装用が可能)

- (3) 装用を中断した場合
- ・1週間未満の場合は、普段通りの装用が可能です。
 - ・1週間以上中断した場合は、はじめて装用する場合と同じように[スケジュール例]の表を参考に開始してください。
 - ・1か月以上中断した場合は、眼科を受診してから装用を開始してください。

3. レンズケア

ソフトコンタクトレンズは装用後の洗浄と消毒が不可欠です。注意事項として、以下のことを守ってください。

- ・レンズ両面を十分にこすり洗いをすること。
 - ・レンズ装用前のすすぎをすること。
 - ・マルチパーパスソリューションは、開封後1か月を目安に使用すること。
 - ・使用後の消毒液は再利用しないこと。
 - ・消毒液は他の容器に入れ替えないこと。
- 詳細については、それぞれのケア用品の使用説明書、表示事項等を必ず読んでください。

4. レンズケースの管理方法

- ・レンズケースは定期的に新しいものと交換してください。
- ・使用後のレンズケースは中の消毒液を捨て、よく洗った後、自然乾燥させてください。

5. 定期検査

レンズ装用開始日より1週間後、1か月後、3か月後、以降3か月毎に、又は眼科医の指示に従って必ず定期検査を受けてください。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- (1) レンズを使用する前に必ず添付文書をよく読み、必要なとき読み取るように保管してください。
- (2) アレルギー疾患を有する場合は、有害事象が発生する危険性が高まりますので眼科医に相談してください。

2. 不具合・有害事象

以下の不具合や有害事象が発生する可能性があります。

- (1) 不具合
 レンズ: 汚れ、キズ、変形、変色、破損、異物の付着、枚数不良
 保存液及び容器: 液漏れ、液の変色・変質、破損、汚れ、異物の混入
- (2) 有害事象
 角膜潰瘍、角膜膿瘍、角膜穿孔、角膜浸潤、角膜びらん、角膜炎、角膜上皮ステイニング等の角膜上皮障害、角膜浮腫、角膜血管新生、結膜炎、結膜下出血、虹彩炎、麦粒腫、マイボーム腺炎、霰粒腫、眼瞼下垂、調節性眼精疲労、ドライアイ、角膜内皮細胞の減少

<装用時の症状と対処方法>

- ・眼の調子や体調が悪い場合は、無理に装用しないでください。
- ・レンズの使用で、次のような症状が発生した場合は対処方法をお試ください。症状が続く場合には速やかに眼科を受診してください。

症 状	対処方法
異物感、痛み、かゆみ、くもり、目ヤニが多く出る、充血	・レンズを確認し、キズや破損がある場合は、新しいレンズに交換する。 ・汚れがある場合は、レンズのこすり洗い、すすぎを行う。 ・装用時間が長すぎる場合は、装用時間を短縮する。
視力不安定、見えにくい、眼の疲れ	・レンズの左右、裏表を確認し、レンズを正しく入れ直す。 ・装用時間が長すぎる場合は、装用時間を短縮する。
乾燥感	・数回まばたきをして涙を多く出す。 ・ソフトコンタクトレンズ用の目薬を点眼する。

3. 高齢者への適用

高齢者等で、自身でのレンズのはめはずしが困難な人が使用する場合は、眼科医に相談してください。

4. 妊婦、産婦、授乳婦及び小児等への適用

- (1) 薬剤の服用や点眼が必要な方、妊娠、出産された方は、レンズの装用に影響を及ぼすことがありますので、眼科医に相談してください。
- (2) 小児にレンズを使用させる場合は、保護者の方等による指導監督のもとに使用してください。

5. その他の注意

- (1) レンズ紛失時及び装用中止時の対応として、予備レンズを携帯し、眼鏡と併用してください。
 - (2) 化粧品はレンズをつけてから、化粧落としはレンズをはずしてから行ってください。
 - (3) 化粧品等がレンズにつかないようにしてください。
 - (4) 装用中に使用する目薬は、防腐剤を含まないソフトコンタクトレンズ用の人工涙液をおすすめします。それ以外の目薬は眼科医の指示を受けて使用してください。
 - (5) 水泳の際はレンズをはずしてください。
- *(6) 遠近両用レンズ使用における注意
- ・単焦点のレンズと比べて見え方に慣れるまで時間がかかる場合があります。慣れるまでは十分注意して使用してください。
 - ・眼鏡や単焦点のレンズと見え方が異なるので、特に車の運転や機械の操作等は見え方に十分慣れてから行ってください。
- (7) 海外での使用時の注意
 - ・海外に長期滞在する場合は、現地の医療機関で定期検査を受けてください。
 - (8) 未使用のレンズに異常が認められた場合は、レンズの購入先又は弊社お客様相談室までご連絡ください。

【臨床成績】

2011年8月～12月まで米国の12施設で166症例332眼(日系人79症例158眼を含む)を対象に、本品と対照品である本邦既承認品との比較臨床試験を実施した結果、被験者全体及び日系人群共に本品の対照品との非劣性が確認され、有効性及び安全性は同等であると結論された。

**【保管方法及び有効期間等】

- (1) 保管方法: 直射日光、高温、凍結を避け、室温で保管してください。
- (2) 使用期限: レンズの使用期限は、レンズの外箱と容器本体に記載されています。使用期限を過ぎたレンズは使用しないでください。
(記載例: 「EXP 2028-12」は、「2028年12月末日」まで、「EXP 2028-12-15」は、「2028年12月15日」までが使用期限であることを示します。)

【保守・点検に係る事項】

- (1) 消毒の方法: 化学消毒
- (2) レンズケア: 「<使用方法等に関連する使用上の注意> 3. レンズケア」の項を参照してください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

<製造販売業者>

ボシュロム・ジャパン株式会社
ボシュロムお客様相談室 0120-132490

*オペレーター受付時間: 9:00～18:00(土日・祝日を除く)
**www.aqualox.jp

<製造業者>

Bausch & Lomb Inc. / ボシュロム社 アメリカ合衆国

**1次包装及び2次包装に記載されている用語・マーク

マーク	解説	マーク	解説
	添付文書をお読みください	SPH	球面度数
EXP	使用期限	CYL	円柱度数
LOT	製造番号	AX	円柱軸
DIA ϕ_r	直径	STERILE	滅菌済み
BC	ベースカーブ	Rx ONLY	医家向医療機器
PWR F_v	レンズ度数		容器包装識別表示: 紙
ADD	加入度数		容器包装識別表示: プラスチック

ボシュロム・ジャパン株式会社

®/TM are trademarks of Bausch & Lomb Incorporated or its affiliates.
©2023 Bausch & Lomb Incorporated or its affiliates